

三村山不殺生界碑について

つくば市教育局文化財課

- 1 名称・員数 みむらさんふせつしょうかいひ
三村山不殺生界碑・1基
- 2 種 別 有形文化財（工芸品）
- 3 所 在 地 つくば市小田 3128 番
- 4 所 有 者 個人
- 5 概 要
 - ・ 高さ 1.5m、幅 1.3m、厚さ 0.13m で、黒雲母片岩で造られている。
 - ・ 現在は小田集落内に所在しているが、当初は宝篋山麓にあり、運ばれたと推測される。
 - ・ 「建長五年 癸丑／三村山／不殺生界／九月十一日」の銘文があり、鎌倉時代中期の建長五年(1253)に製作された板碑とわかる。
 - ・ 三村山極楽寺を拠点として関東に大きな影響を与えた、西大寺の高僧である忍性が、不殺生界を定めて寺域の整備したことを裏付けている。
 - ・ 現在は雨除けの屋根がかけられているが、風雨による経年劣化により表面が剥がれ落ちやすくなっており、次世代に継承していくには保護策が必要である。
- 6 指 定 理 由
 - ・ 三村山極楽寺の鎌倉時代の石造物群の一つに数えられ、年号の刻まれた石造物としては市内最古である。
 - ・ 三村山極楽寺に関わる石造物の中でも、真言律宗の高僧忍性が三村山極楽寺を関東布教の拠点として整備していく過程がわかる歴史資料として重要である。
 - ・ 三村山極楽寺に関わる石造物には茨城県やつくば市、土浦市の指定物件が多くあるが、それらと比較しても歴史的な重要性は遜色ない。

写真

写真の提供可



三村山不殺生界碑 石碑・覆屋



三村山不殺生界碑全景



三村山不殺生界碑拓本